



開かれた議会 市民とともに歩む議会 行動する議会

第12号

平成 28 年 5 月 15 日

発行責任者：滝沢市議会議長

編集：広報常任委員会

たきざわ市議会だより



今年も議会報告会を開催します。議会報告会は、議会の活動内容を皆さまに報告するだけではなく、意見を交換する場にしたいと考えています。

「おでんせ会議」と題し、議会活動の報告に限らず、懇談も行います。皆さまの地域に議員がおじゃましますので、ぜひ参加の上、ご意見等をお聞かせください。

「いとしもおじやまします！」

「議会報告会」

「おでんせ会議」開催

～昨年の議会報告会の感想から～

- ワークショップ方式、とても良かったです。
- ワークショップ形式だったので、テーブル毎に議員さんが来て、身近に感じられました。
- 初めて参加させていただきました。ちょっと最初は話しづらかったのですが、後半発言することもでき、勉強させていただきました。
- 出席者が少ない。個人の意識の問題と思うが、もっと関心を持たないと良い市議会にはならない。人任せではだめだと思う。
- 昨年までの報告会より、意見が出しやすく良かった。今回の要望に対する報告会をお願いします。
- 参加人数がもっと多ければ良い。今回の意見をぜひ議会に反映してほしい。

※今回も、昨年好評だった『ワークショップ』形式で行います。

会場毎の日時・場所は、決定次第回覧等でお知らせします。

- 報告会の内容
- 前回の議会報告会で寄せられたご意見に対する対応状況報告
- 28年度当初予算審査の内容報告
- 地域課題の掘り起し



シリーズ『議会評価』を受けて 第1回～市民参加～

前号でもお知らせしたとおり、議会では「議会評価」を実施し、現在の議会の状態を明らかにしました。

「市民参加」「課題解決能力」「意思決定能力」「透明性」の4つの項目で評価したため、細かな内容や今後の取り組みのポイントを、シリーズで詳しくお知らせします。

議会の現状は

第1回目は『市民参加』の項目です。ひとくちに市民参加と言っても、視点はさまざまです。よって①市民からの意見の吸い上げ状況

②市民の議会参加状況

③意見の活用状況

という3つの視点を、

『1』早急に改善が必要な状態

『2』改善が必要な状態

『3』良好な状態

『4』十分良好な状態

『5』理想の議会像

の5段階で評価しました。

その結果は、下の表中の「ア」欄のとおりです。

さらに、議会評価を実施する際には、今後めざしていく状態も定めており、その内容は表中の「イ」欄のとおりです。

今後の取り組みポイントは

『現状』と『今後めざし』

「市民参加」における議会評価の結果

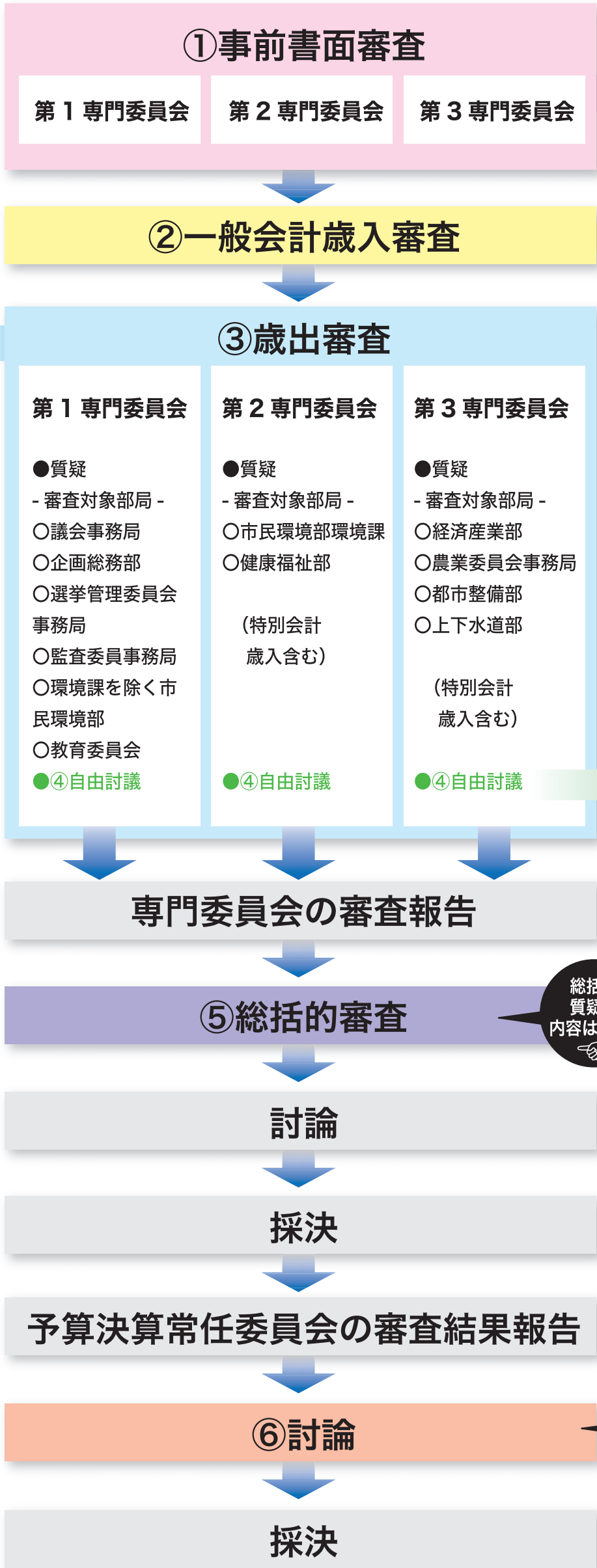
3つの視点	評価内容	ア：H27 評価結果⇒現在の議会の状態	イ：めざす状態
①市民からの意見の吸い上げ状況	どの程度市民の意見を吸い上げているか。	『3』年1回実施義務の「議会報告会」を実施するとともに、その他の意見聴取の場を必要に応じて実施し、市民の多様な意見の掘り起こしに努めている状態。	『4』年1回実施義務の「議会報告会」を実施するとともに、その他の意見聴取の場を計画的に実施し、市民の多様な意見の一部を掘り起こしている状態。
②市民の議会参加状況	議会活動に、どの程度市民が参加しているか。	『3』年1回実施義務の「議会報告会」や、必要に応じて実施する、その他の意見聴取の場に、継続的に市民が参加し、発言している状態。	『4』年1回実施義務の「議会報告会」及び、計画的に実施する、その他の意見聴取の場に、継続的に市民が参加し、発言している状態。
③意見の活用状況	どの程度市民の意見を活用しているか。	『2』いただいた意見が、その後の一般質問や各議案審議等の一部に生かされるとともに、予算及び決算の審査等で活用されている状態。	『3』いただいた意見が、その後の一般質問や各議案審議等に生かされるとともに、予算及び決算の審査等で継続的に活用されている状態。

ていく状態」を比較した結果、今後何をしたいかなければならないのかという、取り組みのポイントが明らかになりました。

具体的には、例えば毎年実施している議会報告会を単に実施するのではなく、何のために、いつ実施すべきか。そして参加者が参加しやすい雰囲気づくりをどうやっていくかなど、計画性をもった取り組みの必要性が挙げられます。

これらのポイントを基にして、今後も議会改革を続けてまいります。

平成28年度予算審査報告 予算審査の流れ



①事前書面審査

②発表した内容をホワイボードに書き出し、どの項目の質疑が多いのかを確認しました。

③質疑が多い項目について、質疑の内容を議員ごとに発表し、視点や論点を整理しました。

そのため、市当局に対する審査の前段階として、論点整理や質問項目の整理を行いました。

この作業の目的は、皆さまから寄せられたご意見を参考に、何が課題なのかを整理し、さまざまな視点から審査を行うためです。

【事前書面審査の方法】

- ①初めに、市民の意見等を十分に踏まえ、審査を行う議員ごとに質疑の項目や内容を発表しました。
- ・住民自治日本一との整合性
- ・地域を自立的に支援していく方策
- ・各地域の集会所等との公的負担のバランス(公平性、配分)

●ふるさと納税推進事業について

- ・現状の確認と改善点
- ・今後の在り方や位置づけ

●地区コミュニティセンター管理運営事業について

- ・住民自治日本一との整合性
- ・地域を自立的に支援していく方策
- ・各地域の集会所等との公的負担のバランス(公平性、配分)

●放課後児童健全育成事業について

- ・施設(ハード面)、保護者負担と税負担の公平性、制度変更における学童の在り方
- ・環境保全対策事業について
- ・総合計画のビジョンと減額予算との整合性
- ・滝沢市シルバー人材センター補助事業
- ・今後の育成方針
- ・新規就農対策事業
- ・計画の最終目標は

②一般会計歳入審査

一般会計歳入の審査は、議長を除く18名の議員で構成する「予算決算常任委員会」において全員で審査しました。

歳入は、皆さまから納めていただく大切な税金など、市に入ってくるお金に関する予算です。主に質疑を通して、市の考え方や取り組みなどについて審査しました。

質疑及び答弁の内容の一部をご紹介します。

問 個人分市民税が増額となっている理由は。

答 年金所得以外の所得が伸びる予想で、増となる分の約9割が給与所得です。

問 新規の生活困窮者自立支援事業等負担金の内

一般社会福祉協議会が行う「生活保護になる前の段階での就労支援に対する助成です。専門性を有している支援員に対する人件費です。

問 移住・定住・交流推進支援助成金の内容は。

答 移住、定住による地域交流に対する支援金で、内容は婚活支援などです。

今後も、若い人たちの活動を支援する内容を考えていきます。

問 臨時財政対策債が16%減となっている理由

答 国が地方の財源不足を補うもので、国の計画が16・3%減額となっており、市でも同程度の減額としました。

今後、同額程度で続くものと見込んでいます。

問 地方消費税交付金の今後の見込みは。

答 消費税が5%の時は4億円ほどであり、8%になって昨年は7億2千万円。今回は8億8千万円を見込みました。

④自由討議

各専門委員会での審査に続いて、自由討議を行いました。

自由討議は、審査の最終段階で行う採決の前、自らの考えを整理するための論点整理や、新たな視点の発見につなげるため、必要に応じて行います。

今回、第1と第3専門委員会で行われた内容の一部をご紹介します。

●ふるさと納税について

- ・非常に良く内外に発信していると感じた。県外から賛同を得て、滝沢に今後期待するとの意味で納税いただいている。
- ・返礼品が多様にわたり結果的に滝沢のアピールにつながっていると考え

●空き家対策について

- ・危険な空き家への早急な対応が必要であると同時に、有効活用という面もあると考える。
- ・危険箇所の対応に重きを置きたい。

●住民自治日本一と地区コミュニティセンターについて

- ・予算の要求額は、雪が少なかった年ベースではなく、平均した実態に即すべき。また、夏場から地域と連携した検討が必要と考える。
- ・貸し出す除雪機を増やすなど、単に委託するよりも効率的な事業執行の検討が今後必要と考える。

●市道除排雪について

- ・予算の要求額は、雪が少なかった年ベースではなく、平均した実態に即すべき。また、夏場から地域と連携した検討が必要と考える。

③歳出審査

第1専門委員会

歳出の審査は、予算決算常任委員会の中に『専門委員会』を設置し、第1から第3までの専門委員会に分かれ審査しました。

本専門委員会は、普段調査活動を行っている「総務教育常任委員会」「環境厚生常任委員会」「産業建設常任委員会」の委員などで構成し、日ごろの調査活動を踏まえたより専門的な視点で審査することができま

歳出は、皆さまから納めていただく大切な税金を、いかに効果的に分配しているのかなど、主に質疑を通して市の考え方や取り組みなどについて審査しました。

質疑及び答弁の内容の一部をご紹介します。

【質疑の内容】

★一般会計 歳出★

問 ふるさと納税推進に関する周知策は。

答 重要な視点であり、さまざまな媒体で周知していく考えです。

問 火葬に要する経費の予算が半額となった理由

答 は、また、全体で300万円の減額となり、市民

第1専門委員会では、事前書面審査で論点整理をした内容を踏まえ、企画総務部が担当する分野からは「ふるさと納税推進事業」、市民環境部の担当する分野からは「地域コミュニティセンター管理運営事業」などについて、さまざまな視点から質疑を行い、審査しました。

問 地域自治活動事業の予算が増額となっている理由

答 理由は、また、地域計画との関連は。

答 交流拠点複合施設「ビッグルーフ滝沢」に隣接する予算が含まれており、新たな備品の設置等です。現在の地域づくり懇談会との関わりも含まれています。

問 滝沢地域づくり活動推進補助事業の予算が増額となっている理由

答 は、また、地域自治活動事業との関連は。

答 地域デザイン補助事業として行ってきました

第2専門委員会

が、今回、地域自治活動事業と関連のある地域づくり懇談会を進めるための事業補助として増額しました。

問 新成人のつどい開催事業の減額理由は。

答 成人式で撮影した集合写真の撮影を廃止することとしたための減額です。

問 新成人のつどい開催事業の減額理由は。

答 成人式で撮影した集合写真の撮影を廃止することとしたための減額です。

【質疑の内容】

★一般会計 歳出★

問 放課後児童クラブの経営状態を平準化できないか。

答 来年度から提出して時間の中で十分に交流できる場を作ったり、写真撮影したい人同士が自由に撮影できる場を作ったり、今後も実行委員と協議していきます。

問 児童クラブによって保育料の差があるか。

答 クラブそれぞれに運営方針があり、統一は難しいと考えます。

問 老人福祉センターの改修内容は。

答 二階へのエレベーターの設置と、利用者の膝痛対策のため、和室を洋室にリフォームします。

第2専門委員会では、事前審査で論点整理をした内容を踏まえ、健康福祉部が担当する分野からは「放課後児童健全育成

第3専門委員会

10年間監視し続け、変化が見られないので対象から外しますが、土砂崩れなどは監視します。

【質疑の内容】

★一般会計 歳出★

問 6次産業化対策事業の内容と販路の拡大は。

答 セミナー等を開催します。10軒の希望者があり、現在3軒ほど商品開発に取り組んでいます。ビッグルーフ滝沢の産業創造センターで販路拡大を進めます。

問 新規就農対策事業の所得面の実態は。

答 実態は難しい状態もあり、所得がでない方もいます。5年で自立できるように指導しています。

問 産学官連携共同研究事業の内容と連携は。

答 市、県立大学、盛岡農業高校の組み合わせで連携しています。雇用につなげるには、人材の活用方法とそれを受け入

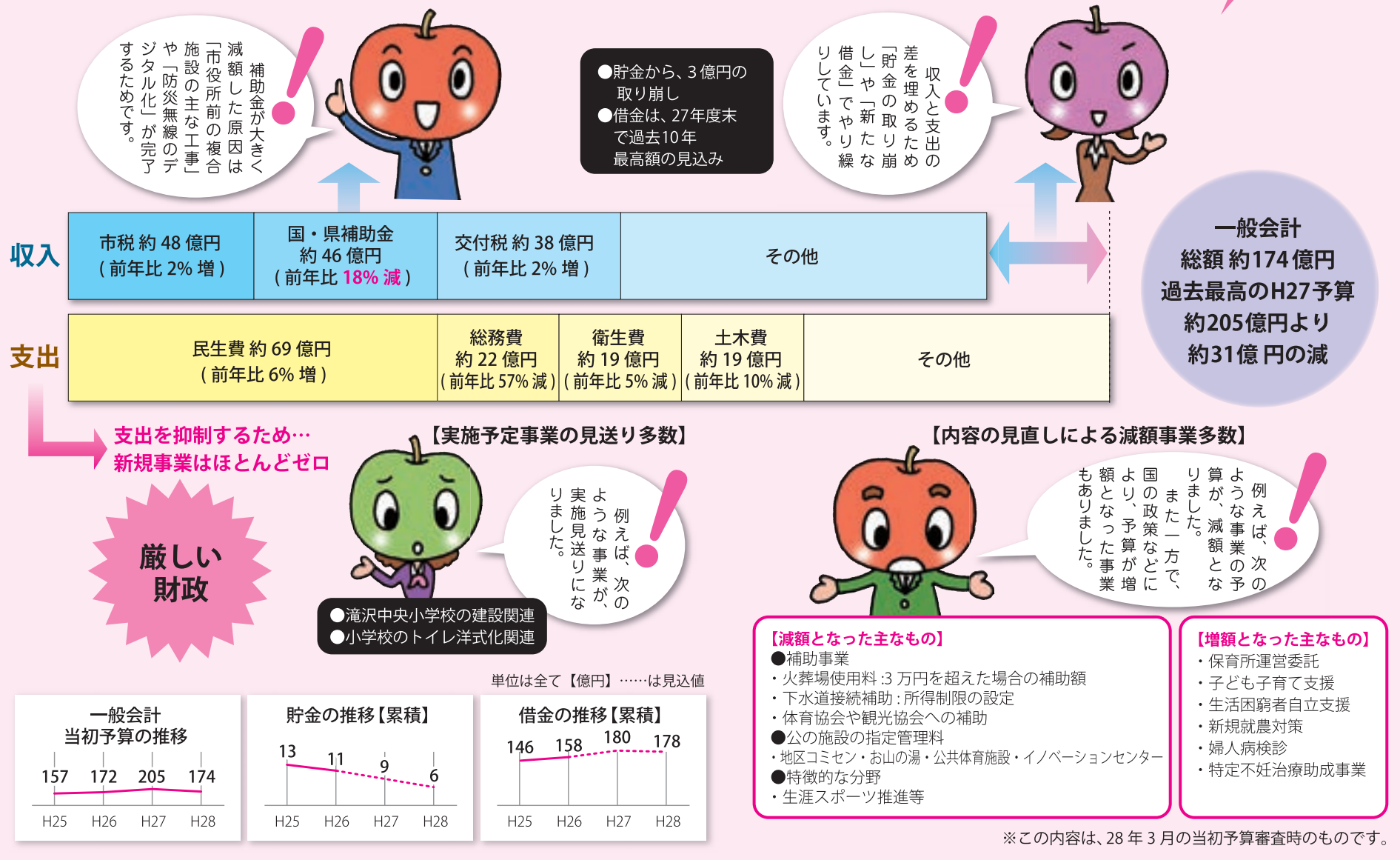
第3専門委員会では経済産業部が担当する分野からは「農業、産業振興」、都市整備部が担当する分野からは「道路整備、空き家対策」、上下水道部が担当する分野からは「簡易水道の進ちょく状況、下水道の補助金」などについて、さまざまな視点から質疑を行い、審査しました。

28年度 滝沢市の 台所事情

今回の予算審査では、国の政策に準じて「**予算が増額となった事業**」がある一方、厳しい社会経済情勢の中で「**新規着手事業の少なさ**」や「**実施予定を見送らざるを得なかった事業**」「**予算を削減せざるを得なかった事業**」が多数見受けられました。同時に、財源確保のため「**基金の取り崩し**」「**新たな借り入れ**」など、厳しい財政事情が十分に読み取れました。

議会として、予算削減に伴う住民サービスの低下を招かないような配慮を求める**附帯決議(※)**を提出しました。持続可能でより安定的な財政運営に向け、監視・提言してまいります。

財政状況を
図表化して
みました。



※この内容は、28年3月の当初予算審査時のものです。

議会用語
ピンポイント
解説

(※) **附帯決議**とは、対象となる案件について、市長に対する執行の際の要望等をまとめた決議です。市長は、法的には決議に拘束されることはありませんが、議会という機関としての意思であり、要望等は執行上尊重する必要があると解されています。

今回の場合は、28 年度一般会計当初予算に対する附帯決議であるため、予算を執行する段階での市民に対する丁寧な説明等を行い、十分な理解を得ることについて要望したものです。

附帯決議の内容がどれだけ尊重され、予算が執行されるかという点も念頭に置き、今後も注視していきます。

平成 27 年度滝沢市議会政務活動費調べ (8～3 月)

(単位：円)

No.	支払先 氏名	8-3 月分 金額	精算金	返納金	執行率	支出内訳 (報告書)									
						調査 研究費	研修費	要請 陳情等 活動費	会議費	資料 作成費	資料 購入費	広報費	事務費	その他	計
1	一新会 代表 遠藤秀鬼	780,000	504,304	275,696	64.65%		493,420				10,884			504,304	
2	滝政会 代表 角掛邦彦	360,000	310,944	49,056	86.37%		304,356				6,588			310,944	
3	公明党 代表 相原孝彦	240,000	240,000	0	100.00%		187,026				52,218		756	240,000	
4	新志会 代表 山谷仁	240,000	240,000	0	100.00%		207,566				23,010	3,884	5,540	240,000	
5	日本共産党 代表 桜井博義	240,000	0	240,000	0.00%									0	
6	齋藤明	120,000	89,795	30,205	74.83%		84,455				4,800		540	89,795	
7	武田哲	120,000	0	120,000	0.00%									0	
8	日向清一	120,000	120,000	0	100.00%		120,000							120,000	
9	佐藤澄子	120,000	0	120,000	0.00%		0							0	
	計	2,340,000	1,505,043	834,957	64.32%	0	1,396,823	0	0	0	97,500	0	3,884	1,505,043	

※政務活動費の月額、1人当たり15,000円です。

⑤ 總括的審查

問 財政構造改革の中で
の編成は大変な努力とは思
うが、予算を削減する
中でサービス低下は明ら

政構造改革について、いつごろまで実施する予定なのか、また誰のための改革なのか。

⑥ 討論

なっています。前年度計上の大型公共事業の減少によるものです。

考え、反対討論とします。

【国保特別会計…反対】

仲田孝行 議員

化、財政の安定化のための国民健康保険団体連合会の取り組みですが、地

附帶決議

【附帯決議の内容】
28年度一般会計予算に対
する附帯決議

5ページでお知らせした各専門委員会での審査を受けて、予算決算常任委員会全体で総括的審査を行いました。

かであり、市民への丁寧な説明が必要では。

答 編成の基本的な考え方は、セーフティネットの堅持と決算ベースでの編成です。

答 持続的な財政構造を実現し、市民のために行う改革です。来年度の予算編成で実現するよう取り組んでいます。

討論とは、議題となっている案件について、採決の前に賛否の意見を表明することです。討論を行うことで、その理由が明らかになるほか、自ら

はピークを過ぎたものの市債総額は179億円に達し、公債費は12億から14億円に増えること。また、開館前の複合施設の管理運営や指定管理に1

別会計予算に反対する立場から討論します。

26年度50億円、27年度58億円、28年度59億8千万円と年々財政規模が大きいくなり、市民の5人に

策も講じるとしていま
す。

市は、基金を取り崩し
て保険料を引き下げるこ
とは、医療費が激増した
ときにその緩和策を取れ

8ページの議決審議結果でもお知らせしていますが、28年度当初予算は、本会議で採決の結果、可決されました。

28年度一般会計予算
は、財政構造改革の中で
編成された予算である
が、市当局においては、
見直し等を余儀なくされ
た市民サービスの実態を

議案の審査結果

3月会議

全員賛成で議決した議案

議案第 3号	平成28年度滝沢市後期高齢者医療特別会計予算	議案第20号	滝沢市職員の降給に関する条例を制定することについて
議案第 4号	平成28年度滝沢市介護保険特別会計予算	議案第21号	行政不服審査法等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例を制定することについて
議案第 5号	平成28年度滝沢市介護保険介護サービス事業特別会計予算	議案第22号	滝沢市行政手続条例の一部を改正することについて
議案第 6号	平成28年度滝沢市簡易水道事業特別会計予算	議案第23号	滝沢市常勤特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正することについて
議案第 7号	平成28年度滝沢市水道事業会計予算	議案第24号	滝沢市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正することについて
議案第 8号	平成28年度滝沢市下水道事業会計予算	議案第25号	滝沢市旅費条例の一部を改正することについて
議案第10号	平成27年度滝沢市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	議案第26号	滝沢市税条例の一部を改正することについて
議案第11号	平成27年度滝沢市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	議案第27号	滝沢市下水道条例の一部を改正することについて
議案第12号	平成27年度滝沢市介護保険特別会計補正予算(第4号)	議案第28号	滝沢市準用河川占用料条例の一部を改正することについて
議案第13号	平成27年度滝沢市介護保険介護サービス事業特別会計補正予算(第3号)	議案第30号	あっせんの申立てに関し議決を求めることについて
議案第14号	平成27年度滝沢市簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)	議案第31号	滝沢市交流拠点複合施設に関する指定管理者の指定について
議案第15号	平成27年度滝沢市水道事業会計補正予算(第3号)	議案第32号	滝沢総合公園多目的運動(芝生)広場等に関する指定管理者の指定について
議案第16号	平成27年度滝沢市下水道事業会計補正予算(第3号)	議案第33号	市道路線の認定及び変更に関し議決を求めることについて
議案第17号	滝沢市地域コミュニティ基本条例を制定することについて	議案第34号	平成27年度滝沢市一般会計補正予算(第7号)
議案第18号	滝沢市自治基本条例検証委員会条例を制定することについて	発議第 1号	滝沢市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正することについて
議案第19号	滝沢市行政不服審査法施行条例を制定することについて	発議第 2号	平成28年度滝沢市一般会計予算に対する附帯決議の件

賛否が分かれた議案

投票結果 ○賛成 × 反対		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	表決 議員数	賛成 票数	反対 票数
		齋藤 明	武田 哲	日向 清一	仲田 孝行	小田島 清美	高橋 辰雄	稲荷場 裕		日向 裕子	川村 守	藤原 治	桜井 博義	相原 孝彦	角掛 邦彦	村松 一	工藤 勝則	遠藤 秀鬼	山谷 仁	佐藤 澄子	長内 信平			
議案第 1号	平成28年度滝沢市一般会計予算	○	○	○	×	○	○	○		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	※ ₁	18	16	2
議案第 2号	平成28年度滝沢市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	※ ₁	18	16	2
議案第 9号	平成27年度滝沢市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	※ ₁	18	16	2
議案第29号	滝沢市交流拠点複合施設等新築工事請負変更契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	※ ₁	18	16	2

人事

人権擁護委員候補者 諮問第1号 田沼 一男 氏 適任	人権擁護委員候補者 諮問第2号 齊藤 栄子 氏 適任
----------------------------	----------------------------

5~6月
日程予定

5月19日(木)	議会運営委員会
5月19日(木)	全員協議会
6月8日(水)	議会運営委員会
6月9日(木)	全員協議会
6月15日(水)	6月会議※

6月20日(月)	6月会議※
6月21日(火)	6月会議※
6月22日(水)	6月会議※
6月24日(金)	6月会議※

このほか常任委員会ごとに、随時日程を決定し活動します。

※は、本議会議場で開かれます。それ以外は、それぞれ委員会室等で開かれます。

3月会議の傍聴者 18名

～お知らせ～

◎滝沢市議会のホームページで「議会だより」や「議会会議録」をご覧ください。

◎議場・議会事務局は市役所 4 階です。

◎日程・内容は予定であり、変更する場合がありますのでご了承願います。

傍聴に
おでんせ!

議会事務局 〒020-0692 岩手県滝沢市中鶴飼55 TEL.019-656-6591 FAX.019-684-4195 <http://www.city.takizawa.iwate.jp/> E-mail:gikai@city.takizawa.iwate.jp

「たきざわ市議会だより」は古紙配合率70%の再生紙に環境にやさしい環境調和型インキで印刷しています。